

低温食品業界をリードする情報誌

日刊  
速報

# 冷食タイムズ

The Frozen Food Times



発行所 株式会社 水産タイムズ社

編集発行人 越川宏昭

F108-0014 東京都港区芝5-9-6

TEL 03(3456)1411 FAX 03(3456)1416

ホームページ <http://www.suisantimes.co.jp/>

e-mail [reisyoku@suisantimes.co.jp](mailto:reisyoku@suisantimes.co.jp)

日刊(但し土・日曜・祝祭日休刊)

購読料 1ヵ月 4,800円 6ヵ月 28,800円(税別)

2018年(平成30年)

5月24日(木)第7705号

## ヤヨイサンフーズ、前期冷食4%増386億円

ヤヨイサンフーズの前3月期売上高は4.2%増386億円と伸長した。15~16年度に落ち込んだコンビニエンスストア向けが回復したことが大きくプラスとなった。営業利益は15.5%増10億5000万円と二ケタの増益となった。23日の会見で黒本聡社長が明らかにした。

「営業利益は良い数字だが目標には未達。原料価格、燃料費が上がったのはもちろん、最も大きいのが人件費の上昇。生産能力が限界に近づき仕入れ商品が増えて粗利率が落ちたのも影響している」(黒本社長)。

前期に伸びたカテゴリーは、CVS向けが好調だったエビカツが30%増。CVSに加え学校給食や惣菜にも広がっている煮魚が26%増。清水工場にドリアラインを新設したグラタン類が24%増。テイクアウト弁当ルートが順調だったクリームコロッケが12%増。井の具は昨年リニューアルして自然解凍も可能にした「肉うどんの具」が好調で6%増。柱商品のハムカツは4%増、ハンバーグ3%増、デザート2%増、ソフリを含む介護食は11%増。ベースは小さいが惣菜の魚フライも大きく伸びている。

魚製品が大きく伸びているものの、生産能力は限界に近付いているため、宮城県気仙沼

市に新工場を建設する。来年着工、2020年11月の稼働を予定している。

一方、前年実績を下回ったカテゴリーはパスタ2%減、餃子7%減、メンチ7%減、ポテトコロッケ8%減。ウインナー・ソーセージ類が11%減。

「餃子はOEMを受けて生産している部分が低調。メンチカツは大口のPB商品が減ったのが大きい。NBも減っている。ポテトコロッケは一昨年北海道の台風による原料不足が原因なのでやむを得ない」(同)。

仕向け先別では中食5.0%増、外食5.6%増、給食2.0%増。

中食のうち、ポテトコロッケの減少が影響した惣菜は3.5%減となったが、CVSは44.8%増、テイクアウト15.1%増。CVS向けはエビカツ、グラタン・ドリアが伸びた。

学校給食は1%増と微増。

産業給食は7.5%減。産業給食は弁当店における価格訴求品が増え厳しかった。

施設給食は22.7%増、病院給食は8.3%増。

「ソフリの伸び率より高いのは軟菜食や通常食の伸びが大きかったため」(同)。

(2面に関連)

ヤヨイSF、今期400億円目標に……………	2
ニッスイ、中計で省人化、欧州強化……………	2
4月の生協、宅配37ヵ月連続前年超……………	2
4月のスーパー、食品1.4%減収……………	3
ピカール、6月は仏流マリアージュ提案……………	3
イオン、IT・デジタルに注力……………	3
ファイネット、前期データ件数27億突破……………	4

関給、組合員の会利用率引き上げ推進…………… 4

### 業界人脈

(5886)

(株)カレー総合研究所

代表 いのうえ たかひさ 井上 岳久氏

…………… 4